

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 (社) 登別観光協会運営事業助成金
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 31112001 事業開始年度 昭和 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別観光協会助成金
------	------	------------	-----------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) (社) 登別観光協会
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 登別市の観光振興の中心的な役割を果たす観光協会に助成金を交付し、運営を支援する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 観光振興の中心的な役割を果たす観光協会を支援し、観光産業の発展をとおり、市内経済の活性化を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	各種会議等の開催回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	115				
	会員数	会員	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	116				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	31,800
合 計				10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	31,800
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	173	181			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		173	181			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
観光振興の中心的な役割を果たす観光協会の安定的な運営を確保するため、助成金を交付し、運営を支援することは妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
観光協会の活動により効果的な観光イベントや観光PRが展開されている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
観光客のニーズの把握により事業を実施することで更なる誘客につなげることができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
観光協会の運営や施設の維持管理に最低限、必要な経費であり、これ以上のコスト削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	観光振興の中心的な役割を果たす、観光協会の安定的な運営を確保するために、必要不可欠な事業であることから維持する。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）